

公的な“新たな形の霊園”のあり方の研究成果について

県では、長寿を楽しむ社会の実現に向けて「安心して生涯を終えることができる」という視点も重要な課題の1つとして捉え、知事の二期目のマニフェストに沿って、今後の墓地行政のあり方や新たな施策の方向性などについて研究を進めて参りました。

このたび、これまでの研究成果を報告書に取りまとめたので、お知らせします。

記

1 研究報告書

「県民の生涯を通した安心の実現を目指して」

～ これからの墓地行政のあり方等に係る研究報告書 ～

※市町村や県が墓地の問題に対する施策を講じる際の参考指針

2 これまでの研究経過

H24. 6 庁内検討会設置

9 市町村ヒアリング

H25. 1 県民アンケート

7 第1回これからの墓地行政のあり方等を考える研究会

10 第2回これからの墓地行政のあり方等を考える研究会

(研究会名簿は裏面のとおり)

※以降、市町村へのアンケート調査、事例調査などを実施

H26. 3 研究報告書作成・公表

(参考) 知事マニフェスト

◎長寿を楽しむ ～長寿を恐れない社会から長寿を楽しむ社会へ～

(公的な“新たな形の霊園”のあり方を研究)

○ たとえ家族がいなくなったとしても、美しい自然に囲まれた地で安らかに永遠の眠りにつける、公的な“新たな形の霊園”のあり方について専門家や県民の議論を踏まえ、研究を行います。

※ なお、本日午後2時から記者会見室にて、報告書の詳細についてご説明させていただきます。

【お問い合わせ先】

企画振興部企画課 澁脇・河野(かわの)

内線：3588／ダイヤルイン：333-2018